



流動化剤・標準形 I 種

# フローリックFBL-200

フローリックFBL-200は、JIS A 6204(流動化剤・標準形I種)に適合する粉体パック型の流動化剤です。従来の流動化剤に比べて、フレッシュコンクリートの状態改善に寄与し、添加後の経時安定性が大幅に改善されます。

フローリックFBL-200の使用により、ポンプ圧送性のみならずハンドリングや充填性などの施工性が大幅に向上します。

## 用途

- 土木・建築・二次製品、長距離圧送や複雑な配管で施工するコンクリート
- AE 減水剤および高性能 AE 減水剤を使用したコンクリートのスランプ回復および回復後のスランプ保持

## 特長

- 従来の流動化剤と比較して、経時安定性が大幅に改善されます。
- フレッシュコンクリートの状態改善に寄与します。
- 従来の流動化剤と比較して、コンクリートの施工性(ポンプ圧送性・締固め性)が大幅に向上します。
- 投入する使用量に応じて、分散性を制御することが可能です。
- コンクリートの耐久性に悪影響を及ぼしません。

## 物性

主成分	外観
ポリカルボン酸系化合物 オキシカルボン酸塩 グリコールエーテル系誘導体	灰色 粉体

## 使用方法

- 使用材料・配(調)合・温度などの環境条件・ベースコンクリートに使用した化学混和剤により、効果が変化しますので、所要の性能を満足するように投入パック数を定めてください。
- トラックアジテータ内のベースコンクリートに FBL-200 を添加する際は、1 パックずつ投入し、中～高速で 90 ～ 120 秒程度ドラムを攪拌してください。ただし、攪拌時間はベースコンクリートの状態や積載量により異なりますので、適宜調整してください。

## 使用上の注意

- ベースコンクリートのスランプおよび空気量を確認の上、所要のパック数を添加してください。
- 所要の投入パック数を厳守してください。必要以上に投入しますとフレッシュ性状が著しく変化し、凝結遅延を招く可能性があります。
- 流動化によるスランプの増大量を考慮して、ベースコンクリートの細骨材率を適宜調整してください。
- 必ずパックのまま投入してください。パックの中の粉体を取り出して添加しないでください。

## 荷姿

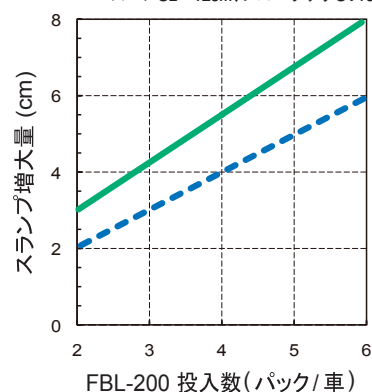
- 80 パック / 箱 (1 パック : 0.25kg 包)

## 使用量の目安

(例) トラックアジテータ 1 車当たりの積載量を 4~4.25m<sup>3</sup>とした場合

【ベースコンクリートの配(調)合条件】

- W/C=50%、C=340kg/m<sup>3</sup>、W=170kg/m<sup>3</sup>  
ベースコンSL=15cm、フローリックSF500S
- - - W/C=55%、C=300kg/m<sup>3</sup>、W=165kg/m<sup>3</sup>  
ベースコンSL=12cm、フローリックSV10





試験結果例

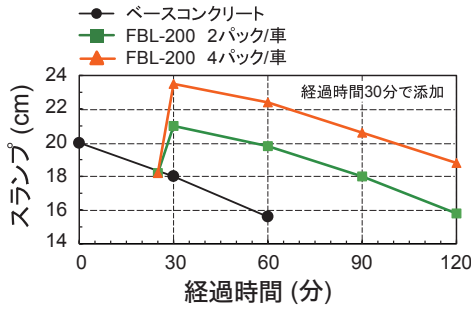


図1 スランプの経時変化

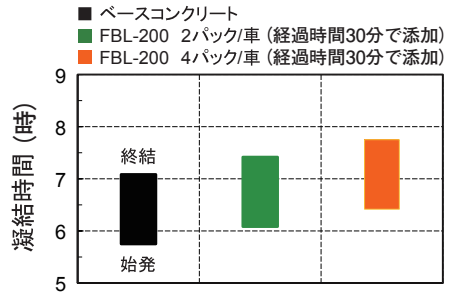


図2 凝結試験結果

① 使用材料：普通ポルトランドセメント三種等量混合、掛川産山砂、青梅産砕石、高性能 AE 減水剤標準形Ⅰ種  
配(調)合：W/C=50%、s/a=48%、単位水量=170kg/m<sup>3</sup> 試験条件：環境温度 20℃、経過時間 30 分で流動化

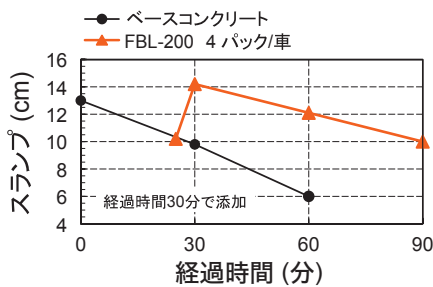


図3 スランプの経時変化

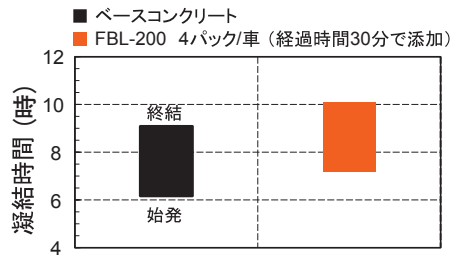


図4 凝結試験結果

② 使用材料：高炉セメントB種、岩瀬産砕砂、青梅産砕石、AE 減水剤 (高機能タイプ) 標準形Ⅰ種  
配(調)合：W/C=55%、s/a=49.3%、単位水量=165kg/m<sup>3</sup> 試験条件：環境温度 20℃、経過時間 30 分で流動化

取扱い上の注意

- 他の製品との混合は絶対に避けてください。
- 本製品を水で希釈して使用したり、パックから粉を取り出して使用しないでください。
- 本製品は、アルカリ水溶性紙で梱包されており、水の影響によって品質低下や所定の性能が得られなくなる恐れがあります。使用時や保管時は水に濡れないようにしてください。
- 本製品は、長期の保管や積重ねにより固結する場合もございますので、固結時にはパックを破らないようにほぐして使用してください。
- 取扱いの際には、保護メガネ、保護手袋およびマスクなどの保護具をご着用ください。
- 目に入った場合は、清浄な水で数分間注意深く洗い、医師の診断を受けてください。
- 皮膚に付着した場合は、多量の水と石鹸等で洗浄してください。
- 飲み込んだ場合は、直ちに多量の水を飲ませ吐かせた後、医師の診断を受けてください。
- 詳細は、当社の安全データシート (SDS) をご覧ください。



日本製紙グループ  
株式会社フローリック  
本社 〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-10-1 TEL.03-5960-6911 FAX.03-5960-6915  
ホームページ: <http://www.flowric.co.jp>

記載データは、標準的な材料を使用して行った試験結果です。使用材料、配(調)合および環境条件が異なる場合の状態を保証するものではありません。事前の試し練りなどで性能を確認することをお勧めします。